

衆議院議員 佐々木ナオミの 国政リポート



2/28 佐々木ナオミ 予算委員会の分科会で質問



あべ俊子文部科学大臣

予算委員会の分科会で質問にたちました。いじめや不登校、暴力行為、そして子どもの自死が年々増え、昨年は過去最高。文科省では、子どもたちや保護者、教職員の相談などに対応するため、スクールカウンセラー（SC）やスクールソーシャルワーカー（SSW）を配置し、教育相談体制の充実を進めています。しかし年々増加する相談に対応するために必要な人数にはまったく足りていません。また毎年予算を増やしてはいますが、SCやSSWのほとんどが非常勤で、学校にいるのは週に数時間です。いつでも相談できる体制になっていません。

加えて問題だと思うのはSCやSSWの待遇です。SCやSSWは、有資格者の専門職であるにもかかわらず、また、必要な職であると文科省が定めているにもかかわらず、その多くが、会計年度任用の非常勤の職員として雇用されています。子どもや保護者からは、「関係性もでき、信頼し相談していたSCが、年度変わりの雇止めで辞めざるを得なくなった。」「毎日でも相談したいのに、週1回しかできない。」との声。SCやSSWからはキャリアが形成されず、再雇用の保障もなく、いつ職を失うかわからないという不安の声が上がっていて、実際に、東京都では解雇されたスクールカウンセラーが都を訴えるという事態にもなりました。



文部科学省初等中等教育局望月局長



3月4日、衆議院でのR7年度予算採決 自・公・維の賛成で可決。

立憲の反対理由は

- 高額療養費の負担上限額の引き上げは命の問題！見直しでは済まされない。凍結すべき！
- 物価高騰対策として、ガソリン減税の実施を！
- 介護崩壊を防ぐため、介護、障害者福祉など疲弊するケアワークへの処遇改善を！
- 無駄に積み増した基金は見直し、財源の確保を！
- 自民党提案の政治資金規制法改正は、抜け穴だらけ。裏金問題への反省がみられない！

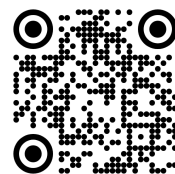


石破総理の言う「楽しい日本」どころか、「冷たい日本」な予算編成。「あたたかな日本」を作るために、暮らしと命を守る政治に、今後も取り組めます！

本会議場で記名投票

この状況は、子ども達の命の問題としても、そして、働く人たちの尊厳の問題としても、一刻も早く改善しなければなりません。常勤のSC、SSWがすべての学校に配置できる予算をしっかりと確保し、児童生徒や保護者、教員からの相談対応のみならず、学校や家庭、地域と連携できるようにすることで、子どもたちの抱える困難に早期に気づき、解決していく必要があります。文科省からは、「常勤化の必要性は共有しているが、予算の確保が難しい。」という苦しい答弁がありました。必要などころに、必要な支援を届ける、引き続き国会で取り組んでいきます。

予算委員会の動画はこちらから





2/11

2月11日 新春の集い、開催しました!

衆議院議員となつて初めての「新春のつどい」を開催しました。祝日にも関わらず、多くの皆様にお集まりいただきました。

また、お忙しい中、加藤憲一小田原市長、村田邦子二宮町長、山神裕開成町長はじめ、多くのご来賓の皆様が激励に駆けつけて下さいました。

私からは、衆議院議員1年生としての活動報告、そして、総選挙によって実現した与野党の拮抗する緊張感のある政治は、地元にも必要であることをお話しました。

基調講演は、立憲民主党幹事長 小川淳也衆議院議員。この国の大きな問題である、円安物価高と地方の衰退。食とエネルギーを海外に依存している状況を、再生可能エネルギーの推進、国内農業の安定化で、食とエネルギーの自給率を高める政策へと本気で転換しなければならない。党として、地方の産業を支えていくこと、そして、そのためには、政権交代を目指すしなければならない、という強い思いをお話していただきました。

後半は、小川幹事長と、神奈川県連の大先輩 早稲田ゆき衆議院議員とのトークセッション。今国会でまさに議論となっている、選択的夫婦別姓の導入、保険証の復活法案について、そして、立憲民主党の考える東京一極集中の解決とは?の3つを議論しました。

一強長期政権の弊害が、裏金を温存し、それにより歪められてきた政治に終止符を打つためにも、保守地盤と言われる神奈川県17区に、応援いただく皆様の力を糧に、新しい風を吹かせることができるよう活動していきたい。あらためて思いを強くした集会でした。



国会事務所

〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2
 衆議院第二議員会館611号室
 phone. 03-3508-7427 fax. 03-3508-3907

